

令和 7 (2025) 年度臨床研修病院の募集定員について

1 概要

国が定める都道府県ごとの上限の範囲内で、県が設定することとなっている臨床研修病院の募集定員について、令和 7 年度分の算定方法を定めるもの。

2 これまでの経緯及び今後のスケジュール（予定）

令和 5 年 12 月 1 日	<u>医師臨床研修部会資料において、本県の募集定員上限は 191 (自治医師含む) とされた。</u> →㉞令和 6 年度の募集定員上限からの減少率が、過去 3 年間の全国の募集定員上限の減少率のうち最大のもの (3.2%) を上回る県は、令和 6 年度の募集定員上限からの減少率が 3.2% となるまで加算されることとなった。(13 人加算) →㉟臨床研修病院の募集定員を 1 から 2 に増加するための加算は、当該県の募集定員上限の範囲内で行うこととされた。
12 月 18 日	岡山県臨床研修病院会議
令和 6 年 1 月 19 日	<u>国からの通知 (資料 3 - 2) において、本県の募集定員上限は 195 (自治医師含む) とされた。</u> →減少率が 3.2% となるまで加算できる令和 6 年度の募集定員上限について、令和 6 年度の募集定員上限 (197 人) 又は令和 6 年度の病院募集定員合計 (201 人) のうちいずれか多い方の数値を採用することとなった。
2 月 16 日	<u>岡山県医療対策協議会</u>
4 月上旬	自治医科大学卒業医師の受入調整
4 月 12 日	各臨床研修病院の募集定員の決定

3 令和 7 年度の募集定員の算定方法（案）

(1) 令和 7 年度の募集定員（基礎研究医プログラムに係る募集定員除く。以下同じ。）の算定方法は、次のとおりとする（試算結果は資料 3 - 3 のとおり）。

① 国が定める本県の募集定員上限から、自治医師（※ 1）に係る定員を除いた募集定員を、令和 6 年度の各臨床研修病院の定員数の割合に応じて按分する。

※ 1 自治医は 15 病院に配分する母数から差し引き、臨床研修病院かつへき地医療拠点病院である岡山済生会総合病院、岡山赤十字病院及び津山中央病院に、別枠で加算する。

② ①の結果をベースとして、県の臨床研修医確保に係る必要な調整を行う。

(2) 基礎研究医プログラムの募集定員

国が定める病院ごとの募集定員とする。

事務連絡
令和 6 年 1 月 19 日

各都道府県衛生主管部（局） 御中

厚生労働省医政局医事課
医師臨床研修推進室

令和 7 年度から臨床研修を開始する研修医の募集定員上限及び
令和 7 年度から開始する基礎研究医プログラムの募集定員について

平素より医師臨床研修制度の推進にご尽力を賜り誠にありがとうございます。
標記については、令和 5 年 12 月 1 日及び令和 6 年 1 月 19 日に開催した医道
審議会医師分科会医師臨床研修部会の審議を踏まえ、①令和 7 年度から臨床研
修を開始する研修医の募集定員上限を別紙 1 のとおり、②令和 7 年度から開始
する基礎研究医プログラムの募集定員を別紙 2 のとおり決定しましたのでご連
絡します。

①については、令和 6 年 4 月 12 日（金）までに、地域医療対策協議会等の
審議を踏まえ、別紙 1 に記載の募集定員上限の範囲内で管内臨床研修病院の定
員配分及び当該定員の算定方法について、管轄する地方厚生局医事課宛てご提
出願います。

②については、令和 6 年 10 月 31 日時点における以下の情報を別添様式に
記載し、地方厚生局医事課宛てご提出願います。なお、これらの情報は、今後、
本プログラムの在り方を検討する際に活用させていただきます。

- ・ 研修医の選考方法
- ・ プログラムへの応募人数
- ・ 研修医の内定結果

令和7年度臨床研修 都道府県別募集定員の上限

	R6年度募集定員上限	R6年度病院募集定員合計(※1)	基本となる数(全国の研修医総数推計値を人口分布や医学部入学定員で按分)(※2)	地域枠による加算(※3)	地理的条件等による加算				基本となる数と加算の合計(仮上限)	直近の採用数等の保障					3.2%まで戻すための追加配分	R7募集定員上限(※5)
					地理的条件(100km ² キロメートルあたりの医師数)による加算(※4)	地理的条件(離島の人口)による加算	医師少数区域の人口に応じた加算	都道府県間の医師偏在状況に応じた加算		直近(R5年度)の採用数	①×0.99と⑥のうち少ない方	仮上限に足す数	仮上限と昨年実績との差	仮上限から削る数(不足数の合計を⑨で按分)		
	①	①'	②	③	④				⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
北海道	438	441	362	25	37	3	0	0	427	338	0	0	0	0	0	427
青森	182	156	102	70	11	0	0	0	183	72	0	0	111	10	0	173
岩手	146	125	100	41	10	0	0	0	151	69	0	0	82	8	0	143
宮城	229	229	193	14	14	1	0	0	222	175	0	0	0	0	0	222
秋田	119	109	79	34	8	0	0	0	121	73	0	0	48	5	0	116
山形	120	120	88	22	9	1	0	0	120	61	0	0	0	0	0	120
福島	196	174	126	61	13	0	0	0	200	124	0	0	76	7	0	193
茨城	265	250	200	66	0	0	1	0	267	197	0	0	70	7	0	260
栃木	198	198	161	17	12	0	0	0	190	168	0	0	0	0	2	192
群馬	162	147	135	20	10	0	0	0	165	115	0	0	50	5	0	160
埼玉	538	498	517	35	0	0	0	0	552	447	0	0	105	10	0	542
千葉	497	497	441	50	0	0	0	0	491	475	0	0	0	0	0	491
東京	1,280	1,281	1,186	25	0	7	1	0	1,219	1,273	1,267	48	0	0	0	1,267
神奈川	667	668	650	18	0	0	0	0	668	641	0	0	0	0	0	668
新潟	229	229	152	24	11	12	0	0	199	147	0	0	0	0	23	222
富山	111	111	86	16	7	0	0	0	109	87	0	0	0	0	0	109
石川	130	135	94	13	7	0	0	0	114	87	0	0	0	0	17	131
福井	92	92	64	13	5	0	0	0	82	52	0	0	0	0	7	89
山梨	114	83	68	38	5	0	0	0	111	63	0	0	48	5	0	106
長野	171	172	142	15	10	0	0	0	167	136	0	0	0	0	0	167
岐阜	190	190	137	37	10	0	0	0	184	144	0	0	0	0	0	184
静岡	306	306	252	61	0	1	0	0	314	281	0	0	0	0	0	314
愛知	571	573	528	28	0	1	0	0	557	557	0	0	0	0	0	557
三重	181	167	123	48	9	1	0	0	181	135	0	0	46	4	0	177
滋賀	130	130	103	4	8	1	0	0	116	117	117	1	0	0	9	126
京都	253	261	200	7	0	0	0	0	207	260	250	43	0	0	3	253
大阪	637	652	618	18	0	0	0	0	636	628	0	0	0	0	0	636
兵庫	409	414	380	22	0	2	0	0	404	404	0	0	0	0	0	404
奈良	128	128	107	13	0	0	0	0	120	106	0	0	0	0	4	124
和歌山	127	127	76	38	6	0	0	0	120	94	0	0	0	0	3	123
鳥取	85	85	46	21	4	0	0	0	71	46	0	0	0	0	11	82
島根	97	78	56	28	6	5	0	0	95	53	0	0	42	4	0	91
岡山	197	201	157	8	12	1	0	0	178	178	0	0	0	0	17	195
広島	221	209	194	27	0	3	0	0	224	178	0	0	46	4	0	220
山口	137	132	111	19	8	1	0	0	139	105	0	0	34	3	0	136
徳島	78	78	59	12	5	1	0	0	77	48	0	0	0	0	0	77
香川	107	107	79	14	0	9	0	0	102	73	0	0	0	0	2	104
愛媛	138	141	108	23	8	4	0	0	143	88	0	0	0	0	0	143
高知	98	98	57	26	4	1	0	0	88	69	0	0	0	0	7	95
福岡	414	414	407	4	0	1	0	0	412	383	0	0	0	0	0	412
佐賀	86	86	68	5	0	1	0	0	74	52	0	0	0	0	9	83
長崎	149	146	108	22	0	31	0	0	161	90	0	0	71	7	0	154
熊本	146	146	121	6	9	1	0	0	137	88	0	0	0	0	4	141
大分	117	110	94	14	7	1	0	0	116	77	0	0	39	4	0	112
宮崎	118	110	89	26	7	1	0	0	123	54	0	0	69	6	0	117
鹿児島	171	148	112	16	8	34	0	0	170	121	0	0	49	5	0	165
沖縄	164	164	109	23	0	30	0	0	162	159	0	0	0	0	0	162
計	11,339	11,116	9,443	1,187	280	155	2	0	11,069	9,388		93	986	93	116	11,185

(※1) 都道府県が、各病院の募集定員を2人以上とするための加算をすることにより、病院募集定員合計が募集定員上限を上回る場合がある(令和7年度からは、各病院の募集定員を2人以上とするための加算は、当該都道府県の募集定員上限の範囲内で行うよう改めることとする)

(※2) 「研修医総数推計値」は、令和7年度研修希望者数推計値に、研修希望者数に対する採用実績数の割合の過去3年平均(0.896)を乗じて算出

→ 令和7年度研修希望者数推計値 10,540人 × 0.896 = 9,443人

(※3) 地域枠学生数(実績)に今回の倍率(1.05)を乗じて算出

(※4) 面積当たり医師数については、全国の平均値よりも少ない場合等に加算

(※5) ⑥から⑩の計算は、直近の採用数等の保障による激変緩和のための加減であり、追加する都道府県の定員は、他の都道府県の「仮上限」から、当該都道府県の「仮上限」と直近の採用数との差に応じて削減することにより調整。ただし、「令和6年度の募集定員上限を全て病院に配分した都道府県」は、「仮上限」からの定員削減の対象外(⑨=0)とする

⑫の計算は、令和6年度の募集定員上限等(令和6年度の募集定員上限(①)又は令和6年度の病院募集定員合計(①'))のうちいずれか多い方の数値をいう。以下同じ)からの減少率が3.2%(過去3年間の全国の募集定員上限の減少率のうち最大のものを)を上回る都道府県(令和6年度の募集定員上限を全て病院に配分している都道府県に限る)に対して、令和6年度の募集定員上限等からの減少率が3.2%となるまで加算

(※6) 四捨五入等の関係で表記上合計が一致しない場合がある。

令和7年度の各都道府県の募集定員上限について（追加）

- 令和7年度の各都道府県の募集定員上限については、別紙の①～④により算出した結果、令和6年度の募集定員上限からの減少率が3.2%を上回る都道府県（令和6年度の募集定員上限を全て病院に配分しており、かつ、激変緩和措置による加算の対象ではない都道府県に限る）に対しては、令和6年度の募集定員上限からの減少率が3.2%となるまで加算（以下、この加算を「補正加算」という）することとしたところ。【令和5年12月1日開催の第4回医師臨床研修部会において承認】
- **しかしながら、**
 - ・ 激変緩和措置による加算の対象であるために補正加算の対象外とされたため、令和6年度の募集定員上限からの減少率が3.2%を上回る都道府県（**滋賀県**）
 - ・ 令和6年度研修において一病院当たりの募集定員数を1から2に増加するための加算をしていたため、補正加算後も令和6年度募集定員からの減少率が3.2%を上回る都道府県（**石川県、京都府、岡山県**）については、**当該都道府県における募集定員配分に係る調整が困難となるおそれがある。**
- このため、補正加算（別紙の⑤）については、以下のとおり改めてはどうか。

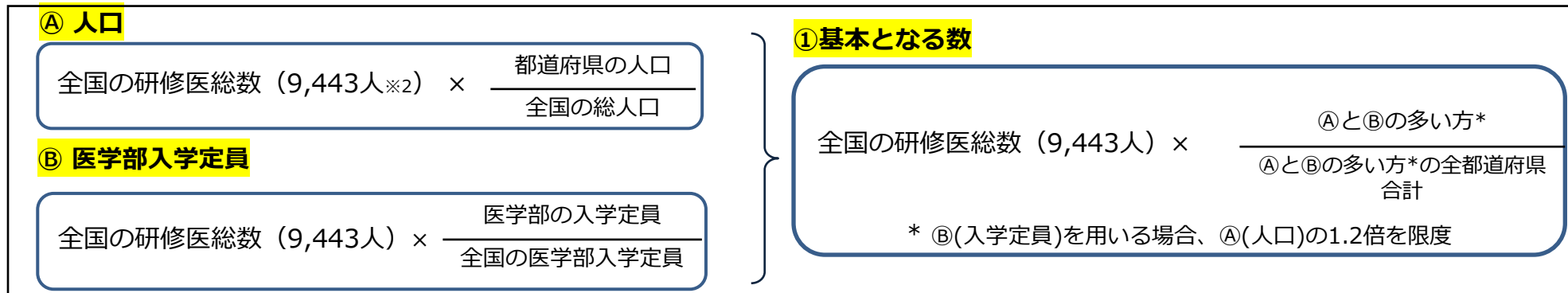
改正案（今回の提案）	改正前の案（12月1日の部会で承認された案）
<p>⑤募集定員上限等の減少率が、過去3年間の全国の募集定員上限の減少率のうち最大のものを上回る場合の加算</p> <p>①～④の結果、令和6年度の募集定員上限等（令和6年度の募集定員上限又は令和6年度の募集定員配分のうちいずれか多い方の数値をいう。以下同じ）からの減少率が3.2%（過去3年間の全国の募集定員上限の減少率のうち最大のものを上回る都道府県（令和6年度の募集定員上限を全て病院に配分している都道府県に限る）に対して、令和6年度の募集定員上限等からの減少率が3.2%となるまで加算</p>	<p>⑤募集定員上限の減少率が、過去3年間の全国の募集定員上限の減少率のうち最大のものを上回る場合の加算</p> <p>①～④の結果、令和6年度の募集定員上限からの減少率が3.2%（過去3年間の全国の募集定員上限の減少率のうち最大のものを上回る都道府県（令和6年度の募集定員上限を全て病院に配分しており、かつ、④による加算の対象ではない都道府県に限る）に対して、令和6年度の募集定員上限からの減少率が3.2%となるまで加算</p>

■ 全国の募集定員上限 (11,067人)

研修希望者数 (推計) (10,540人) × 1.05 ※1

※1 令和7年度までに段階的に1.05まで縮小

■ 各都道府県の募集定員上限



※2 研修医総数 (推計) は、研修希望者数 (推計) に、過去3年間の研修希望者数に対する採用人数の割合を乗じた数

+ ②地域枠による加算

地域枠入学者数 × 1.05 ※1

+ ③地理的条件等による加算

- (1) 100km²当たり医師数※3
- (2) 離島の人口※4
- (3) 医師少数区域の人口※5
- (4) 都道府県間の医師偏在状況※6

- ※3 100km²当たりの医師数が、全国平均よりも少ない都道府県は①×0.07、30未満の都道府県は①×0.1を加算
- ※4 ①× 離島人口×3/当該都道府県の人口 を加算
- ※5 ③(2)までを配分した後の未配分の数×「当該都道府県の医師少数区域の人口/全国の総人口」を加算
- ※6 ③(3)までを配分した後の未配分の数、都道府県間の医師偏在状況 (医師偏在指数) に応じて按分した数を加算

+ ④激変緩和措置(直近の採用人数保障)

- ・ ①～③の合計 (「仮上限」) が、直近 (令和5年度) の採用人数よりも少ない都道府県は、令和5年度の採用人数と「令和6年度の募集定員上限×0.99」のうち少ない方の人数を当該都道府県の募集定員上限とする
- ・ 上記により追加する定員は、他の都道府県の「仮上限」から $\frac{\text{各都道府県の (「仮上限」 - 令和5年度採用数)}}{\text{各都道府県の (「仮上限」 - 令和5年度採用数) の合計}}$ に応じて定員を削減して捻出
ただし、「令和6年度の募集定員上限を全て病院に配分した都道府県」は、「仮上限」からの定員削減の対象外とする

+ ⑤募集定員上限の減少率が、過去3年間の全国の募集定員上限の減少率のうち最大のものを上回る場合の加算 ※上記11,067人に別途加算するもの

- ・ ①～④の結果、令和6年度の募集定員上限からの減少率が3.2% (過去3年間の全国の募集定員上限の減少率のうち最大のものを) を上回る都道府県 (令和6年度の募集定員上限を全て病院に配分しており、かつ、④による加算の対象ではない都道府県に限る) に対して、令和6年度の募集定員上限からの減少率が3.2%となるまで加算

(注) 令和7年度からは、各病院の募集定員を2人以上とするための加算は、当該都道府県の募集定員上限の範囲内で行うよう改めることとする。

令和7(2025)年度臨床研修病院の募集定員について

1 過去実績

	令和6(2024)年度採用						令和5(2023)年度採用						令和4(2022)年度採用						令和3(2021)年度採用						令和2(2020)年度採用						平成31(2019)年度採用					
	定員	マッチ数	マッチ率	採用実績	採用率	自治医(参考)	定員	マッチ数	マッチ率	採用実績	採用率	自治医(参考)	定員	マッチ数	マッチ率	採用実績	採用率	自治医(参考)	定員	マッチ数	マッチ率	採用実績	採用率	自治医(参考)	定員	マッチ数	マッチ率	採用実績	採用率	自治医(参考)	定員	マッチ数	マッチ率	採用実績	採用率	自治医(参考)
川崎医科大学附属病院	38	27	71				39	32	82	26	67		39	39	100	28	72		44	40	91	27	61		50	43	86	35	70		50	37	74	24	48	
岡山大学病院	41	37	90				43	39	91	36	84		42	39	93	34	81		42	41	98	36	86		46	42	91	39	85		46	40	87	40	87	
倉敷中央病院	31	30	97				32	29	91	32	100		32	32	100	32	100		30	30	100	30	100		32	30	94	29	91		32	32	100	29	91	
岡山赤十字病院	14	14	100			3	14	14	100	14	100	1	14	14	100	14	100	1	13	9	69	13	100	2	14	14	100	14	100	2	14	14	100	14	100	
岡山医療センター	15	15	100				15	15	100	15	100		15	15	100	15	100		15	15	100	14	93		17	14	82	13	76		17	15	88	14	82	
岡山済生会総合病院	11	9	82			1	11	11	100	11	100		11	11	100	9	82	1	11	11	100	11	100		14	13	93	12	86		12	4	33	9	75	2
岡山市立市民病院	10	10	100				10	10	100	10	100		10	10	100	10	100		10	10	100	10	100		12	12	100	12	100		10	10	100	9	90	
川崎医科大学総合医療センター	13	11	85				13	13	100	11	85		13	13	100	10	77		13	13	100	9	69		25	12	48	11	44		25	17	68	12	48	
岡山労災病院	4	4	100				4	4	100	3	75		4	4	100	4	100		4	4	100	4	100		6	6	100	5	83		6	2	33	1	17	
津山中央病院	8	7	88				8	7	88	8	100		8	8	100	8	100	1	8	7	88	7	88		11	6	55	6	55	1	9	9	100	9	100	1
岡山協立病院	4	4	100				4	3	75	4	100		4	4	100	3	75		3	3	100	3	100		4	4	100	4	100		4	1	25	4	100	
倉敷成人病センター	2	1	50				2	2	100	2	100		2	2	100	2	100		2	2	100	2	100		3	3	100	3	100		3	2	67	1	33	
水島協同病院	2	0	0				2	2	100	2	100		2	2	100	1	50		2	1	50	2	100		5	3	60	4	80		5	1	20	3	60	
水島中央病院	2	0	0				2	2	100	2	100		2	2	100	2	100		2	2	100	1	50		2	1	50	2	100							
岡山中央病院	2	2	100				2	0	0	2	100		2	0	0	1	50		2	2	100	2	100		3	1	33	2	67		3	0	0	0	0	
心臓病センター榑原病院																															2	0	0	0	0	
合計	197	171	87			4	201	183	91	178	89	1	200	195	98	173	87	3	201	190	95	171	85	2	244	204	84	191	78	3	238	184	77	169	71	3
(参考)自治医含めた合計	201						202						203						203						247						241					

※「自治(参考)」列を除き、自治医師は含んでいない(定員、マッチ、採用実績)。

2 令和7年度各臨床研修病院の募集定員試算

(自治医、基礎研究医除く)

	R6 定員上限	R6 募集定員 (A)	R7 定員上限 ※1	前年度(R6) 定員数の割合 による按分 (B)		(B)-(A)	R7 募集定員 試算結果	
				端数調 整(四捨 五入)	定員		前年比	
川崎医科大学附属病院	193 自治医 -4	38	193 自治医 -2	37.23	37	▲1	37	▲1
岡山大学病院		41		40.17	39	▲2	39	▲2
倉敷中央病院		31		30.37	30	▲1	30	▲1
岡山赤十字病院		14		13.72	14	0	14	0
岡山医療センター		15		14.70	15	0	15	0
岡山済生会総合病院		11		10.78	11	0	11	0
岡山市立市民病院		10		9.80	10	0	10	0
川崎医科大学総合医療センター		13		12.74	13	0	13	0
岡山労災病院		4		3.92	4	0	4	0
津山中央病院		8		7.84	8	0	8	0
岡山協立病院		4		3.92	4	0	4	0
倉敷成人病センター		2		1.96	2	0	2	0
水島協同病院		2		1.96	2	0	2	0
水島中央病院		2		1.96	2	0	2	0
岡山中央病院	2	1.96	2	0	2	0		
合計		197		193.00	193	▲4	193	▲4
(参考)自治医含めた合計	201						195	▲6

岡山赤十字病院、岡山済生会総合病院、津山中央病院は、自治医師を受け入れる場合は、当該受入人数を別途加算する。(R7年度計2人)

※1 令和6年度定員上限201 × ▲3.2% ÷ 195
195 - 2(自治医) = 193

は、へき地医療拠点病院であり、自治医師の加算がある病院。